

連携協議会における支援メニュー 取組報告

令和5年3月9日

北海道サイクルルート連携協議会

1. 一覧	・ ・ ・ 1
2. (一社) 北海道商工会議所連合会	・ ・ ・ 2 ～ 3
3. (一社) S B W支援センター	・ ・ ・ 4 ～ 8
4. 北海道 (北海道観光振興機構共同含む)	・ ・ ・ 9 ～ 1 3
5. 北海道運輸局	・ ・ ・ 1 4 ～ 1 5
6. 北海道開発局	・ ・ ・ 1 6 ～ 2 0
7. 現地走行会の報告	・ ・ ・ 21

連携協議会における支援メニュー一覧

番号	項目	支援メニュー
①	走行環境整備支援	案内設置看板の整理／管理者同士の連携／案内サイン・路面標示矢羽根の標準仕様の作成／各建設管理部等への情報提供
②	コンビニ連携	コンビニを休憩施設として支援することを目的とした連携協議会とコンビニとの包括協定の締結に向けた調整
③	公共交通連携支援	鉄道やバス等の公共交通機関への自転車の持ち込み／JR駅や空港等での自転車組み立てスペース確保やロッカーの拡充
④	輸送連携	手荷物輸送を進める取組の検討・実施
⑤	駐車場連携	道の駅の駐車場等の公共駐車場利用の仕方の整理／駐車場の情報発信
⑥	レンタルバイク	レンタサイクル事業の実施
⑦	サイクルステーションの整備	拠点となりうるルート上の既存施設の洗い出し（公民館、寺社仏閣、交番等）／サイクリング周遊拠点の整備／道路パトロールカーによるサイクリストのサポート／メンテナンス講習会の開催支援
⑧	連携強化	ガイドツアーの支援／その他地域観光団体との連携／北海道サイクリング協会との連携／官民連携の推進／空港との連携／企業との連携／コンテンツの造成
⑨	利用実態調査	取組効果の把握、サイクリング客数推計のための調査
⑩	海外プロモーション	海外現地プロモーションなどによる誘致
⑪	情報発信	サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の運営による情報発信／WEBサイト等での情報発信／サイクルルートマップによる情報発信／自転車利用環境向上会議における情報発信

(一社)北海道商工会議所連合会の支援メニュー取組状況①

情報発信

サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の運営による情報発信

【連絡会の開催による官民の意見交換等実施】

過年度 取組内容	・ 今年度は2022年7月に第18回となる連絡会を開催し 情報交換を実施。
現在 取組内容	・ 来年度2023年7月の第19回連絡会開催(予定)に向 け準備中。情報交換を予定。
今後の取組 検討状況	・ 今後も継続して実施予定(第20回以降の連絡会の開 催)

▼意見交換会の様子



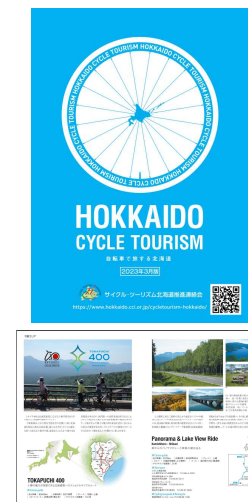
情報発信

サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の運営による情報発信

【PR冊子の作成・配布】

過年度 取組内容	・ 2022年3月に冊子発行。 ・ 2022年3月開催の「CYCLE MODE RIDE OSAKA2022」 に出展し冊子配布等PR ・ 冊子は連絡会のHPでも開示。
現在 取組内容	・ 2023年3月に冊子発行、道内外へ配布。 ・ 冊子は連絡会のHPでも開示。
今後の取組 検討状況	・ 2024年3月に冊子発行予定。 ・ 2024年3月開催の「CYCLE MODE RIDE OSAKA2024」 に出展し、冊子配布等PR予定。 ・ 冊子は連絡会のHPでも開示。

▼サイクル冊子



▼CYCLE MODE RIDE OSAKA2022出展の様子



(一社)北海道商工会議所連合会の支援メニュー取組状況②

情報発信

海外プロモーション

サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の 運営による情報発信

【海外へのPR】

過年度 取組内容	・ 2021年12月に台湾南部の屏東(へいとう)で開催のトライアスロンイベント(「ラヴァキッズ・ダペン・ベイ」)で札幌テレビ放送(株)の協力を得てサイクル冊子を配布しPR
現在 取組内容	・ 繁体字版のサイクル冊子作成し、2022年11月に台北で開催の「2022リブ ラヴァ クイーン タイペイ女子デュアスロン」(ランとバイクのデュアスロン大会)で札幌テレビ放送(株)の協力を得てサイクル冊子650冊を配布しPR。
今後の取組 検討状況	・ 未定

▼冊子配布時の様子



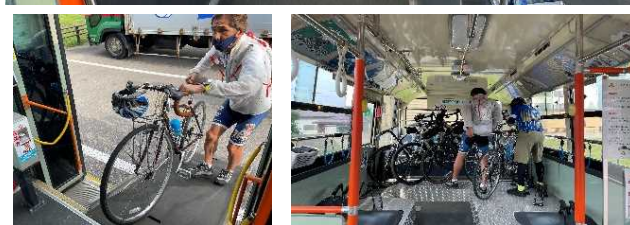
公共交通連携支援

鉄道やバス等の公共交通機関への自転車の持ち込み

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	2022年10月31日に開催された釧網線サイクルトレインモニター調査に協力 2022年10月1日～3日で、歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会主催で実施されたサイクルツアーでの道南いさりび鉄道を使ったサイクルトレインと、函館バスを使ったサイクルバスの実証に協力 2022年10月9日～10日に開催された「石狩川流域圏基幹ルート走行会」で宗谷バスの「サイクルバス」の実証に協力
今後の取組 検討状況	今年度も、シーニックバイウェイ北海道の各ルートで実施されるサイクルイベントでのサイクルバスやサイクルトレインの調査、実証に協力の予定



▲道南いさりび鉄道への自転車搭載試行2021年から実施。道南



▲函館バスへの自転車搭載。2019年から実施。道南

駐車場連携

駐車場の情報発信

過年度 取組内容	シーニックの地域活動団体による自転車ラックの製作と配備（釧路湿原・阿寒摩周ルート、萌える天北オロロンルート）
現在 取組内容	シーニックの地域活動団体による自転車ラックの製作と配備（釧路湿原・阿寒摩周ルート、萌える天北オロロンルート）
今後の取組 検討状況	シーニックの地域活動団体と連携したサイクルラックの整備を継続

▼高校生とルートとの自転車ラック作成と設置 （萌える天北オロロンルート）



▲R3年度製作のラックを町内の立ち寄り施設に設置



▲サイクルイベント時に実際に使用

レンタルバイク

取組効果の把握、サイクリング客数推計のための調査 (自転車活用等促進事業)

過年度 取組内容	- 札幌市北口ゲストハウス「Ten to Ten」で、レンタサイクル事業を実施(COVID19の影響もあり、個別貸し出しは休止)。 - 電動アシスト自転車のレンタル開始 - マウンテンバイクなど、オフロードバイクのレンタル準備 - 北広島市、豊頃町、鶴居村でレンタサイクル事業に協力
現在 取組内容	過年度からの取り組みを継続中
今後の取組 検討状況	今後も継続を予定しているが、COVID19による環境変化を考慮して、随時、修正を行う。



▲電動アシストMTBのレンタルによる
アクティビティ体験ワークショップツアー
の実施(in 石狩市)



▲北海道サイクルルート連携協議会
主催の石狩北部・増毛サイクルルート
現地視察で自転車を貸出

サイクルステーションの整備

サイクリング周遊拠点の整備

過年度 取組内容	- 札幌駅北口でゲストハウス「Ten to Ten」と連携して、石狩川流域圏ルート(調整中)を対象とした拠点整備を実施。 「Ten to Ten」の拠点整備を継続 - 着替え、シャワー利用サービスを開始(COVID19対応のため休止中) - ガイドサイクリングの実施(COVID19対応のため休止中)
現在 取組内容	- 札幌駅北口でゲストハウス「Ten to Ten」と連携して、石狩川流域圏ルートを対象とした拠点整備を実施 - ガイドサイクリングの実施 「Ten to Ten」の拠点整備を継続 - 着替え、シャワー利用サービスを実施(COVID19対応のため休止中)
今後の取組 検討状況	今後も継続を予定しているが、COVID19による環境変化を考慮して、随時、修正を行う。



▲ガイドサイクリング(in 増毛町)



▲tentotenから現地へ自転車を
運ぶためのトラックへ積み込み

(一社)SBW支援センターの支援メニュー取組状況③



サイクルステーションの整備

メンテナンス講習会の開催支援

過年度 取組内容	R4年度初開催
現在 取組内容	スポーツバイクをメンテナンスできる自転車店は数少ない地方部において、応急的なメンテナンススキルを習得する講習会の開催支援(講習会の企画への助言、講師の紹介)。
今後の取組 検討状況	留萌管内の「サイクリスト応援カー」運転手向けに実施予定



▲講習会の様子

▲受講証明書

連携強化

ガイドツアーの支援

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	ATWSに向けて札幌及び道南のシーニックバイウェイが関わるPSA、DOAの事前確認の調査協力を行った。
今後の取組 検討状況	ATWSで実施されるPSA,DOAの実施及び関係機関への協力を予定している。

▼事前確認調査の様子



▲ATWS2023に向けた札幌市主催のプレツアーにてレンタサイクルにて協力実施(in 札幌市南区)

▲ATWS2023に向けた札幌市主催のプレツアーにて調査協力を実施(in 石狩市)

(一社)SBW支援センターの支援メニュー取組状況④



連携強化

北海道サイクリング協会との連携

過年度 取組内容	- ルートを結んだ北海道縦断サイクリングイベントを企画検討の一環として関係者による現地試走及び調査を実施 - 北海道縦断サイクリングイベントの実施方法について検討
現在 取組内容	9/18(日)～9/21(水)にて「とんがりロードライド2022」を開催 「TEPPEN-RIDE 2022」(9/22-9/24)と接続し、北海道縦断サイクリングイベントとして連携事業を実施
今後の取組 検討状況	9月中旬にて「とんがりロードライド2023」を開催予定 「TEPPEN-RIDE」との連携事業は継続予定

▼北海道縦断サイクリングイベントの様子



▼TEPPENとの連携



「とんがりロードライド」の旭川ゴール／
TEPPENの人たちがお出迎え



翌朝、旭川から「TEPEEN-RIDE」のスタート／
TEPPENのガイドへサイクリング協会ガイドから
タスキが渡される

連携強化

企業との連携

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	(株)シマノ主催の、大学生を大賞とした第5回「ソーシャル×散走」企画コンテストへの北海道内大学への参加案内と企画立案のサポートに協力。その結果、全国から参加40チームの中で、北海道科学大学が大賞、函館大学が特別賞を受賞
今後の取組 検討状況	今年度も、実施予定なので、北海道からの参加チームの募集に協力することと、昨年、企画された散走ツアーを実現の取り組む予定。

▼「ソーシャル×散走」企画コンテストの発表資料



▲北海道科学大学(大賞)
「みつけて余市」



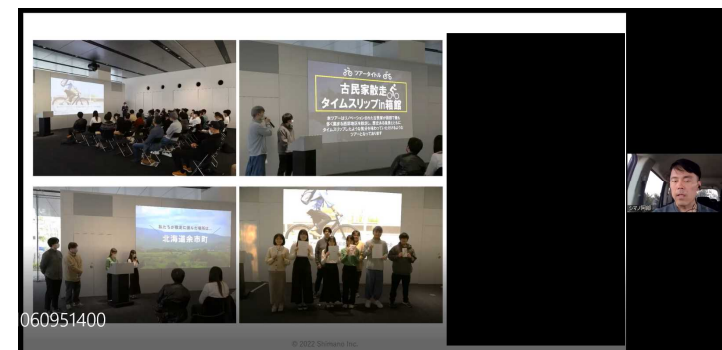
▲函館大学(特別賞)
「CYCLERENOVATION HAKODATE
～タイムスリップできるまち函館～」



▲藤女子大学
「石狩×散走」



▲北海道科学大学
「yofukashiYOICHI
～よふかしよいち～」



▲北海道から参加した大学生による第5回「ソーシャル×散走」企画コンテスト参加者報告会の様子

(一社)SBW支援センターの支援メニュー取組状況⑤



海外プロモーション

海外現地プロモーションなどによる誘致

過年度 取組内容	- シンガポール、英国、スイス等とのオンラインによるサイクルセミナーを共催で開催 - シンガポールのサイクリストを対象としたオンラインセミナーを開催
現在 取組内容	2022年9月にシンガポールからの北海道へのサイクルツアーが実施され、主催したSCTと意見交換を行った。
今後の取組 検討状況	シンガポール、英国、スイス、米国などとのサイクルルアーの誘致や相互交流について意見交換を行う予定。

▼サイクルツアーおよび意見交換の様子(2020年)



海外のサイクルツアーガイド会社より(上:イギリス/下:シンガポール)



情報発信

WEBサイト等での情報発信(サイクルルート北海道HP更新作業継続)

過年度 取組内容	サイクルルート北海道において、各ルートの情報提供を実施、継続
現在 取組内容	- サイクルルート北海道において、各ルートの情報提供を実施、継続 - さっぽろサイクルラボの情報提供
今後の取組 検討状況	今後も継続予定



はじめて、ピクニックライド。さっぽろです。

ユニークで多彩 厳選コース!

ピクニックライドとは、札幌の風景を満喫しながら、自然と触れ合えるサイクリングです。札幌市内の各コースは、それぞれ異なるテーマがあり、初心者から上級者まで対応しています。また、各コースには、地元の名産や文化を紹介するポイントが設定されています。ぜひ、ピクニックライドを通じて、札幌の魅力を堪能してください。



北海道の支援メニュー取組状況①

公共交通連携支援

鉄道やバス等の公共交通機関への自転車の持ち込み

過年度 取組内容	- 道内の交通連携の現状把握 - 交通事業者とのWEB意見交換会の開催
現在 取組内容	- 釧網線・花咲線のラッピング車両によるサイクルトレインモニターツアーの実施 - 主催はJR釧網本線維持活性化実行委員会(事務局:釧路市)
今後の取組 検討状況	サイクルトレインの実用化に向けた取組の検討

※自転車活用等促進事業

▼モニターツアーの様子



ラッピング車両(釧網線)



ラッピング車両(花咲線)



積み込み状況



サイクリングツアー

駐車場連携

道の駅の駐車場等の公共駐車場利用の仕方の整理

過年度 取組内容	道内市町村における駐輪場等のホームページ掲載情報の調査
現在 取組内容	札幌市内の冬期間における自転車保管場所のInstagramによる投稿
今後の取組 検討状況	駐輪場情報等のホームページや各種SNSによる情報発信の検討

※自転車活用等促進事業

▼HP・Instagramの様子



自転車保管場所紹介

サイクルステーションの整備

サイクリング周遊拠点の整備

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	- サイクルラック・空気入れ・修理工具の3点セットの設置によるサイクルオアシス(サイクリストが安心して休憩できる場)の整備に向け、ガバメントクラウドファンディング(GCF)を実施 - 実施期間: R4.8.30~R4.10.28 - 寄附額: 1,251,000円(目標100万円)
今後の取組 検討状況	GCFのご寄附により、サイクルオアシスとして整備予定(2月末にサイクルラックが納品予定)

▼クラウドファンディング

※地域政策課

**サイクルオアシスの整備に
ご協力いただき、
誠にありがとうございました！**

サイクルオアシス(サイクリストが安心して休憩できる場)の整備に向けて、クラウドファンディングを実施し、皆様からのご寄附より、目標を達成することができました。

多くの皆様からご支援いただき、誠にありがとうございました。いただいたご寄附は、北海道のサイクリングをもっと楽しく快適にするため、サイクルオアシスの整備に活用させていただきます。

ご寄附によるサイクルオアシスの整備箇所は、別途改めてホームページなどでお知らせいたします。

ご寄附の結果

◎寄附件数: 156件〔個人: 149件、企業: 7件〕

◎寄 附 額: 1,251,000円〔個人: 1,016,000円、企業: 235,000円〕

☎連絡先: 北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課 (TEL: 011-204-5791)

連携強化

北海道サイクリング協会との連携

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	自転車活用等促進事業のイベント(14振興局管内で実施)において、自転車の相談コーナーや試乗体験に対応いただくなど、連携した取組を実施
今後の取組 検討状況	来年度のイベントでも継続して連携予定

▼相談コーナー・試乗体験の様子

※自転車活用等促進事業
(地域政策課)



相談コーナー



試乗体験



連携強化

官民連携の推進

過年度 取組内容	- 北海道自転車活用等推進連携会議の開催 - 各ルート協議会や交通事業者等とのWEB意見交換会の開催 - 保険事業者等の民間事業者と連携したチカホイベントの開催 - 保険加入促進のコラボチラシの作成など、保険事業者等と連携した取組の調整 - 販売店舗やシェアサイクル事業者等と連携したヘルメット着用推進の取組の調整 - 市町村はもとより、道内企業や団体を対象とした「もっと、自転車北海道。」サポーターの募集
現在 取組内容	- 保険事業者や「もっと、自転車北海道」サポーター等の民間事業者と連携したイベントの開催 - 保険事業者との連携による保険加入促進に向けたコラボチラシの作成 - 市町村や道内企業・団体を対象とした「もっと、自転車北海道。」サポーターの募集 - GCFの実施に当たり、関係団体・企業等と連携した募集内容やサイクルオアシス整備箇所の検討 - 新聞広告を活用した自転車通勤に係る自治体や民間企業の取組事例の紹介
今後の取組 検討状況	今後も継続して実施予定

※自転車活用等促進事業
(地域政策課)

▼イベント開催の様子



イオンサイクルフェア(5/19~22)



道庁1階パネル展(5/19~20)

情報発信

WEBサイト等での情報発信 (自転車活用等促進事業の一環)

過年度 取組内容	「もっと、自転車北海道。」公式Instagramを開設し、幅広い層に対し、自転車の魅力を情報発信
現在 取組内容	- Facebook及びTwitterの「もっと、自転車北海道。」公式アカウントの開設 - Instagram、Facebook、Twitterの公式アカウントによる定期的な情報発信(利活用促進、イベント開催、GCFの寄附呼び掛けなど)
今後の取組 検討状況	今後も継続予定

※自転車活用等促進事業



▲SNSでの情報発信(左からinstagram、facebook、twitter)

管理者同士の連携

※道路課

石狩北部・増毛サイクルルート



石狩川流域圏ルート



各建設管理部等への情報提供資料

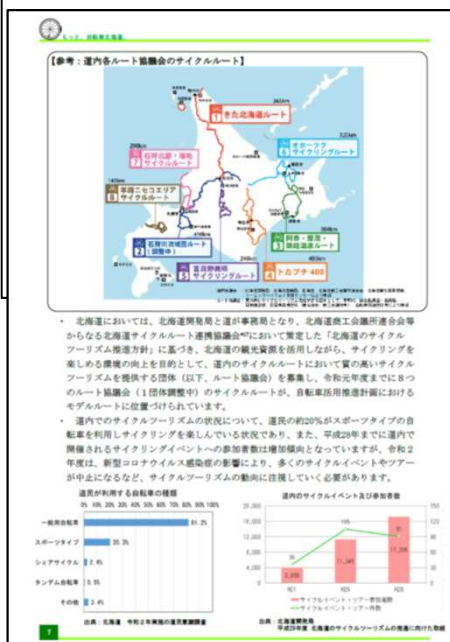


第2期 北海道自転車利活用推進計画

誰もが安全・快適で楽しく自転車を利用できる
環境に◎観光に◎健康に◎もっと、自転車◎北海道。

令和5年度

道 路 関 係
予 算 概 算 要 求 概 要



(5) 自転車の利用環境の整備と活用促進

(5) 自転車の利用環境の整備と活用促進

令和3年5月に策定した第2次自転車活用推進計画[※]に基づき、地方公共団体における自転車活用推進計画の策定を促進するなど、安全で快適な自転車利用環境の創出を推進します。

【安全で快適な自転車利用環境の創出】
 <調査/データ>.....

【自転車通勤の導入促進】
 ○「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクト^{※5}を通じ

・歩行者と分離された自転車専用空間の整備延長約1,599km（2016年度）
・自転車専用道路の拡充により、自転車専用空間に電動アシスト自転車（EAPC）が利用可能となり、利用者の増加が期待される

◎ガイドライン⁴²⁾の見直し等を通じて、適切に分離され

【自転車通行空間の整備】

○公共交通機関等との連携に

関する事例集を作成し、関係者に周知

・先進的なサイクリング環境の整備を
目指すモデルルート例
（左から）①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯、⑰、⑱、⑲、⑳、㉑、㉒、㉓、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、㉚、㉛、㉜、㉝、㉞、㉟、㊱、㊲、㊳、㊴、㊵、㊶、㊷、㊸、㊹、㊺、㊻、㊼、㊽、㊾、㊿、

○関係者の連携強化のための地域における報道体制を

・乗例増による加入義務付状況：

・計画の確定額** (R2～R4): 約1000万円

[illegible]

◎社会資本整備総合交付金においては、民間投資・融資を喚起する道路整備により、ストック効果を実現、地方自治地域の形成を支援する。また、地域間の連携強化を図るには、民間企業に積極的に参加して、地方自治体のストック・マネジメントに協力して、ストック効果を実現する。

○防災・安全文庫会においては、国民の命と暮らしを守るインフラ再構築、生活空間の安全確保を図るとの考えの下、以下の事業にそれぞれとして法定外な整備計画に対して重点的に行う。

社会資本整備関係交付金 イスラエルの経済発展策の実施に資する建設の整備	防災・安全交付金²⁾ イスラエルの経済発展策の実施に資する建設の整備
---	---

①駅の整備や工費開始の迅速化と共同投資と供用期間を確保し、
 入込、物流の効率化や成長産業の強化に資するアクセス道路整備事業



道路の整備
道路の整備
道路の整備
道路の整備

公園における交通規制対策

○緑道との緑地帯における歩行空間の

工場内と共用部分を遮った
アケスミ遮断設備

駅の敷地と共用部分を遮った
アケスミ遮断設備

③地方自治体と鉄道局が協議に基づき、
沿線自治体と鉄道局が協議に基づき、

○歩行者利用促進道路に指定された道路における歩行者の利用促進や地域
の賑わい創出に資する道路事業（歩行者利用促進に資する歩行者利用促進事業）を指す。

＜国土強靱化地域計画に基づく事業＞

○重要物流道路の整備に関する代替型交通手段の調査実施、総合病院への視察訪問として、国土交通大臣が指定した道路の整備事業

① 災害時に地域の輸送網を生かせる道路の整備が防災・減災に資するもの。早期の整備実施が見込める事業

＜道の駅の機能強化＞
 ◎全国モデル「道の駅」、重点「道の駅」

●手裏と足腰の機能強化
●ボクストロキナ記（養生療法の改

連携強化

ガイドツアーの支援（観光振興機構）

過年度 取組内容	ATWS(アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット)に向けたPSA(Pre Summit Adventure)、DOA(Day of Adventure)受入整備を目的としたワークショップ・セミナーの開催
現在 取組内容	ATWSに向けて実施するサイクリングツアーの磨き上げのためのテストツアーを開催
今後の取組 検討状況	今後もATWS開催に向けた準備を継続予定

※アドベンチャートラベル推進事業

▼テストツアーの様子



走行前ブリーフィング



サイクリング走行(ニセコ)



サイクリング走行(北広島)



意見交換会の様子

連携強化

その他地域観光団体との連携（観光振興機構）

過年度 取組内容	地域が主体となり行うモニターツアー開催やイベント実施等の取組に向けた支援を実施
現在 取組内容	地域が主体となり行うモニターツアー開催やイベント実施等の取組に向けた支援を実施
今後の取組 検討状況	今後も継続して実施予定

※地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業、広域観光周遊促進事業

▼イベント開催の様子



羊蹄ニセコサイクルエリアの魅力アップ事業

公共交通連携支援

鉄道やバス等の公共交通機関への自転車の持ち込み

過年度 取組内容	・ 北見バスターミナル横にサイクルステーションを設置し、バスに自転車を積み込む輪行サービス「バス＆ライド」を実施
現在 取組内容	・ 北見エリアにおいて、サイクルトレーラー付き車両で自転車を運び、走りやすい場所でサイクリングをする「いいところリツアー」を実施
今後の取組 検討状況	・ 観光庁の補助金事業を活用し、継続実施予定



▲サイクルトレーラー付き車両とサイクリングの様子

連携強化

コンテンツ造成

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	・ 「観光バスの通れない坂道を巡る自転車ツアー造成事業」 ・ 室蘭市において観光バスが通れない狭い道や高低差のある道を電動アシスト自転車で巡るマッピングレンタサイクルを実施。また、マップの内容を工夫し、地元住民との交流を創出するツアーを造成
今後の取組 検討状況	・ 観光庁の補助金事業を活用し、継続実施予定



▲コースマップを使用したサイクリングの様子

連携強化

コンテンツ造成

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	・「七飯・大沼アドベンチャートラベルサイクリングコンテンツ造成事業」 ・大沼公園の観光資源である遊覧船・ゴンドラと、七飯町内3種の醸造所や秘境を自転車で巡るサイクリングツアーや、ファットバイクで結氷した湖の上を走るサイクルツアーを造成
今後の取組 検討状況	・観光庁の補助金事業を活用し、継続実施予定



▲ファットバイクを使用した氷上サイクルツアーを造成

走行環境整備支援

案内設置箇所の整理

過年度 取組内容	- 申請ルートの情報調査 - ルート情報のとりまとめ - アクションプランの整理
現在 取組内容	R5年度アクションプランにて進捗状況を管理
今後の取組 検討状況	今後も継続予定

▼各ルートのアクションプラン

令和5年度 きた北海道ルート アクションプラン

令和5年3月9日
きた北海道サイクルツーリズム連絡会議

・道外、海外サイクリストの誘客を想定し、JR旭川駅及び管内駅、管内空港及び利尻空港を記点のゲートウェイとして設定し、機能としては、レンタサイクル、自転車・荷物送サービスや着替えスペース等の機能を設置する計画としている。

・JR旭川駅及び管内駅、管内空港及び利尻空港を記点として、ルートの魅力である一級河川天塩川や利尻札文サロベツ国立公園といった自然観光資源などを巡り、休憩施設や宿泊施設を利用しながら、日本最北端の宗谷岬を目指し、管内空港やJR管内駅を記点のゲートウェイとして設定する。

・道北地域からの利用者には、道北地域の中心に位置し、駅名を冠し、隣接する名寄駅前交流プラザより一歩を記点として設定する。

・利尻島については、管内港とを結ぶ黒呂港、道内外を結ぶ利尻空港を記点とする。

① 起点：JR旭川駅、旭川空港
機能：マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物送サービス、自転車組み立てスペース。

② 終点：JR管内駅（道の駅わがや） 管内空港
機能：マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物送サービス、自転車組み立てスペース。

③ 終点：名寄駅前交流プラザより一歩
機能：マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、レンタサイクル、自転車組み立てスペース。

④ 終点：釧路港及び利尻空港
機能：マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物送サービス、自転車組み立てスペース。

走行環境整備支援

案内サイン・路面表示矢羽根の標準仕様の作成

過年度 取組内容	- 基幹ルートの案内サイン、路面表示矢羽根の標準仕様の作成 - 地域ルートの案内サインの標準仕様の作成
現在 取組内容	- 仕様書の改訂 - 引き続き運用
今後の取組 検討状況	- 引き続き運用 - 必要に応じて見直しを実施

▼地域ルートの案内サイン標準仕様

地域ルートの案内

1.デザイン

■基幹ルートのサインデザイン

■地域ルートのサインデザイン

・地域ルートのサインデザインは、基幹ルート設置基準を踏襲し、統一感のあるデザインとして設定し、視認性を高める必要がある。

・このため、地域ルートのサインデザインは、基幹ルートのデザインを反転させたデザインとする。

・地域ルートの番号は基幹ルート番号の次に地域ルート番号を入れる。



案内看板(左:基幹ルート・地域ルート重複区間、右:地域ルート)

走行環境整備支援

管理者同士の連携

過年度 取組内容	- 河川計画課や道道と連携した取組みを実施 - 詳細は開発建設部において調整
現在 取組内容	- 河川計画課や道道と連携した取組みを継続 - 詳細は開発建設部において調整
今後の取組 検討状況	今後も継続予定

▼河川管理用通路における案内表示について

河川管理用通路における案内表示について



河川用管理通路の案内表示

コンビニ連携

セコマグループとの連携した取組

過年度 取組内容	- 各ルートにおける休憩施設空白地帯とコンビニの位置関係について調査 - R3.6.21セコマと連携協力協定を締結 - 協定に基づき、セイコーマート店舗7店舗へのサイクルラックの設置を試行 - 試行のフォローアップとして、サイクルラックを設置した店舗へのヒアリング調査を実施
現在 取組内容	セコマグループの取組みとして、モデルルート沿線のセイコーマート151店舗（R4年度）でサイクルラックが設置された
今後の取組 検討状況	- 今後も継続予定 - 新たに登録されたモデルルート沿線や沿線以外のセイコーマートとの連携を協議

▼設置されたサイクルラック



駐車場連携

道の駅の駐車場等の公共駐車場利用の仕方の整理

過年度 取組内容	- ルート沿線の道の駅におけるラック設置状況等の整理 - 除雪ステーションの休憩施設としての活用(一部の除雪ステーション)
現在 取組内容	除雪ステーション、道の駅の活用継続
今後の取組 検討状況	- 今後も継続予定 - 活用する施設の拡充の検討

▼ニセコ除雪ステーションの例



道路施設を活用した地域観光支援(サイクル拠点)の社会実験 概要

YINCA ShiriBeshi

実験の内容

(1)実験の内容

- 国道5号ニセコ町にある「ニセコ除雪ステーション」で、遠方から車で羊蹄ニセコ地域を訪れるサイクリストが安心して長時間駐車ができる場所として有効活用。
- 検証項目：道の駅における自動車利用者の負担軽減(サイクリストの転換による近隣道の駅での一般駐車場利用者の負担軽減)
- 実施主体は「羊蹄ニセコ自転車走行協議会(通称YINCA)」で、基本となる駐車場のほか、サイクリストに必要な道路・観光情報の提供や、レンタサイクル、自転車用品・飲食の販売、自転車修理のサービス提供などの収益事業を含む活動を実施。
- 検証項目：地域観光推進(サイクリスト発着拠点の確保、サービスの提供によるサイクリストの満足度向上)
- 道路維持管理費のコスト削減(地域団体の事業活動による草刈り等の維持管理費への還元)

(2)実施の期間 令和元年9月14日(土)～令和元年10月14日(月・祝日)のうち、土日祝日(7時～17時)に実施

(3)実施主体 羊蹄ニセコ自転車走行協議会(通称YINCA)
構成員：YINCA(羊蹄ニセコ自転車走行協議会：倶知安町、ニセコ町、蘭越町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町)
オブザーバー：北海道後志総合振興局、北海道開発局小樽開発建設部

サイクル拠点イメージ

- 1 メインテナンススペース
- 1 インフォメーションセンター
- サイクルスタンド
- 休憩スペース
- トイレ
- ポトル給水
- 駐車スペース
- ニセコ除雪ステーション(ニセコ町元町6番地)

- サイクリストの受入環境改善
- 近隣道の駅の負担軽減、除雪ステーションの維持管理費軽減
- 今後の地域観光振興に資する環境整備に充当する手法を検討
- 受入環境整備への充当(サイクルラック、工具等)
- 情報発信の経費に充当(快適で安全・安心な道路情報)(ルール・マナーの啓発等)

サイクルステーションの整備

道路パトロールカーによるサイクリストのサポート

過年度 取組内容	道路パトロールカーに工具や空気入れを搭載しサイクリストをサポート
現在 取組内容	継続して実施
今後の取組 検討状況	継続して実施予定

▼道路パトロールカーによるサポート(上:オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト、下:トカプチ400)



利用実態調査

取組効果の把握、サイクリング客数推計のための調査

過年度 取組内容	・ CCTVカメラを活用した自転車交通量調査
現在 取組内容	・ CCTVカメラを活用した自転車交通量調査
今後の取組 検討状況	・ 当年度調査を踏まえ、新たな手法などを検討

▼基幹ルートに設置されているCCTVカメラによる自転車交通量調査

CCTV映像提供希望箇所および計測結果(きた北海道ルート)

□: 自転車交通量観測箇所



【候補: 974】
・ ルート中で最も北に位置する
・ 並行道路が(まほな)市街地外区間



【候補: 629】
・ ルート中で最も南に位置する、市街地区間
・ 自動車交通量は多い



No	CCTV基本情報					過年度観測結果			R4 観測結果
	管轄開発建設部	識別子コード	CCTV名称	緯度	経度	R2.8	R2.10	R3.9or10	
629	旭川開発建設部	10.104.1.13C00504	R4045・1k剣淵町剣淵	44.0921219	142.3907628	20	3	3	10
974	稚内開発建設部	10.104.1.13C01487	R238306・2増幌	45.4369439	141.8622219	29	1	9	19

利用実態調査

エコカウンター導入による自転車交通量カウント

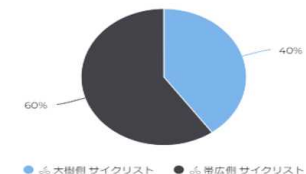
過年度 取組内容	・ エコカウンター導入による自転車交通量カウント
現在 取組内容	・ エコカウンター導入による自転車交通量カウント
今後の取組 検討状況	・ 引き続き継続

▼エコカウンターの設置状況



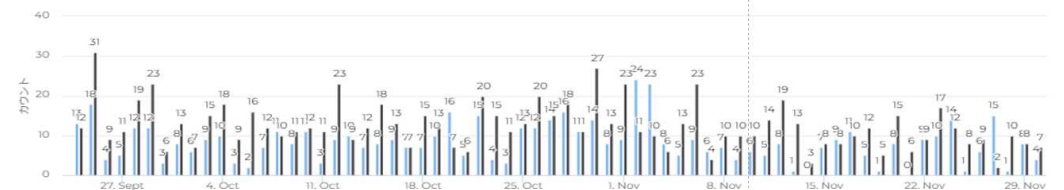
エコカウンター設置位置

分布
2021/09/24 → 2021/11/30



進行方向の内訳

Daily traffic
2021/09/24 → 2021/11/30



日別交通量の推移

情報発信

サイクルルートマップによる情報発信

過年度 取組内容	- 基幹ルートの統一マップ作成マニュアルを作成 - 一部見直しを実施
現在 取組内容	- マニュアルを一部更新 - 引き続き陰陽
今後の取組 検討状況	引き続き運用

▼基幹ルート統一マップ作成マニュアルの見直し

改定案

北海道サイクルルート
基幹ルート統一マップ 作成マニュアル

令和5年3月
北海道サイクルルート連携協議会

の例

【表紙 (A6)】

①ルート名

②ルートの写真(上下2枚)

③ロゴマーク・ルート番号

④ルートのキャッチフレーズ

⑤ルート全長6mso発行年月

⑥ポットサイズ

⑦表紙 (A6)】

⑧サイクル北海道

⑨お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑩お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑪お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑫お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑬お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑭お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑮お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑯お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑰お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑱お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑲お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

⑳お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉑お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉒お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉓お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉔お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉕お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉖お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉗お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉘お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉙お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉚お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉛お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉜お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉝お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉞お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㉟お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊱お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊲お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊳お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊴お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊵お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊶お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊷お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊸お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊹お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊺お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊻お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊼お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊽お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊾お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

㊿お問い合わせ先(お問い合わせ先、緊急連絡先等)

出紙サイズ

折りサイズ

A2(420mm×594mm)	A6(100mm×148mm)
A3(297mm×420mm)	A7(74mm×100mm)
B3(364mm×515mm)	B7(91mm×128mm)

情報発信

自転車利用環境向上会議における情報発信

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	第9回自転車利用環境向上会議におけるポスターセッション参加
今後の取組 検討状況	次年度以降も継続して参加予定

▼展示したポスターおよび会場の様子



